

## 人権啓発研究集会に参加して — 新潟水俣病 —

全国啓発研究集会が2月6・7日に新潟市を中心に開催され、全国から約4千人が参加しました。

今回は、この研究集会にあわせて行われた「新潟水俣病」についてのフィールドワークの報告です。

フィールドワークでまず驚いたのはその被害でした。

水俣病が発生した当初は、原因が不明であったことから『タタリ』、『伝染病』だと言われ地域から孤立することもあった。原因が旧昭和電工株式会社の排水から出たメチル水銀中毒によるものだと判明してから、仕事を辞めさせられたり、子どもの就職や結婚で差別を受けたりすることがあった。こうした差別や誹謗中傷を恐れて、病気を隠し続けなくなった人もいる。『水俣隠し』と言われる。

このように、水俣病は被害者の生命や健康を奪っただけでなく、

2018年10月31日現在で、3886人の被害者が確認されているようですが、水俣病であることを隠しておられる人もかなりの数に上るそうです。

また、身体的な被害だけでなく、社会的被害として厳しい差別や偏見があったことも説明されました。

被害者やその家族は、周囲から心ない差別・偏見に苦しめられ、地域の絆さえ壊してしまつた。

認定申請が認められなかつた被害者に対して『ニセ患者』、『何ともないのに、当たり前前に仕事をしているじゃないか』。

救済を求めた裁判を巡っても、『金が欲しくてニセ患者になつた』『補償金で水俣御殿を建てた』『銭が欲しくて水俣病になつた』というような具体的な事例もあつた。

(フィールドワークのメモより)



▲旧昭和電工の排水口

「回遊魚である鮎や鮭は獲っていません。でも、鯉や鮒を獲る人は誰もいません」。

これは、新潟水俣病資料館館長さんの言葉でした。新潟水俣病は1965年に公式に確認されていますが、その補償を求める第二次訴訟はまだ続いています。

新潟水俣病はまだ終わってはいません。

### 平成31年度大山町 特定新規学卒者 就職促進奨励金

このたび中学校・高等学校・専門学校などを新規に卒業される方のうち、身体障害者手帳を持ち、就職される方などに、次のとおり就職促進奨励金を支給します。

◆支給額 25,000円

◆手続期限 4月26日(金)

◆対象者

次のいずれかに該当する方

(保護者または世帯主が大山町内に住所がある方)

・身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方

・社会的事情により就職が著しく阻害されている方

◆申請先

福祉介護課 人権推進室

※申請用紙は、本庁住民課、各支所総合窓口室にも置いてあります

◆必要な物

・印鑑

・身体障害者手帳など

・雇用証明書など

◆問い合わせ先

福祉介護課 人権推進室

☎0859・54・2286